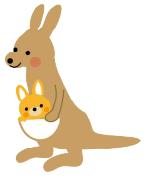




# だっこ通信

## 第5号

2020. 12月発行



だ いじょうぶ・つ ながる・こ そだて



### あるある話「赤ちゃんは泣いてばかり」



「赤ちゃんは泣くのが仕事」なんて言われますが、泣かれてばかりいるとどうしたら良いか分からなくなる時がありますよね。どうして泣いているのか、何をしてほしいのか、言葉で伝えてくれませんか。ほんとによく泣きます。

ちなみにシマウマの赤ちゃんは、生まれて30分も経たないうちに立ち、なんと次の日には走るようになるそうですよ。これは、敵に襲われた時にすぐ逃げることができるように。自分で草を見つけて食べることができるように。そうしないと、厳しい自然界では生きていけないのです。



それに比べて人間の赤ちゃんは、立って歩けるようになるのに1年ほどかかります。もし人間の赤ちゃんが、生まれてすぐに歩けるようになるまであと1年お母さんのお腹にいたらどうでしょう。大きくなりすぎて大変なことになりますよね。人間の赤ちゃんは自力では生きられない状態で生まれてきて、泣くという手段でしか伝えられません。一生懸命生きようとしているからこそ泣くのです。

### ★本日のお題

### 生後1年間は泣いて守られて育つ



立てない、歩けない、話せない、一人で食べられない、トイレに行けない・・・まだ何にもできないけど、守ってくれる？ できないことだらけだけど、優しくしてくれる？ この世界はいいところ？ ぼくは生まれてきてよかったの？

だいじょうぶ。生まれてきてくれてありがとう。しっかり守るよ。信じてね。

安心して生きていくためには、人や社会への基本的信頼感が大切です。

その意味で生後1年間は、長い人生の中でもとても重要な時期 と言えるのです。



発行者：さくら市生涯学習課（担当 鈴木）